MD200/MD210/MD100/MD110BT シリーズバーコードリーダー ユーザーマニュアル



Version: MD200/MD210_JP_V1.01

MD200シリーズ・MD210シリーズは全ての設定が可能です。

MD100はコード別の設定(P26~P45)のみ可能です。 MD110BTはコード別の設定(P26~P45)と 先頭と末尾の付加コード(P46~P49)が可能です。

MD100やMD110BTにて音量やスリープの調整は 各商品マニュアルをご確認ください。

表紙	1
目次	2
目次	
動作について注意	4
MD200 スペック表	
ケーブルコネクタのピン説明	
各バーコードのデフォルト設定	7
読取り範囲	
寸法図	
スキャナ各部設定	
スキャン方法	
プログラムの設定手順	
USB virtual COM の説明	
インターフェイスの選択	
キーボードインターフェイスの説明	
キーボードインターフェイスの設定	
キーボードインターフェイスの設定コード	
RS232C インターフェイスの説明	
RS232 インターフェイスの設定コード	
USB 接続時の説明	
USB 接続時の設定	
バーコードリーダー(スキャンモード)の説明	
バーコードリーダー(スキャンモード)の設定	
バーコードリーダー(読取り知らせ)の設定	
スタンドセット時の設定	
UPC-A 設定	
UPC-E 設定	
.JAN13 設定	
.JAN8 設定	
CODE39	
CODE39 オプションコード	
インターリブド 20F5	
Industrial 2 of 5	
Matrix 2 of 5	
Codabar	
Code 128	
Code 93	
Code 11	
MSI/Plessey	
UK/Plessey	

UCC/EAN 128	41
China Post	42
GS1 DataBar	43
GS1 DataBar Limited	44
GS1 DataBar Expanded	45
読み取ったコードの先頭に文字を付加する	46
読み取ったコードの後尾に文字を付加する	47
コードの〇番目に文字を挿入する	48
指定した文字を別の文字に変更する	49
オプション設定	50
テストコード	51,52
トラブルシューティング	53
メンテナンス	54
ASCII コード表	55
特殊キー入力	
工場出荷時設定・ファームウェアバージョンチェック	57
オプションコード	
デフォルト設定	59

警告:オプションのDCアダプタは、+5 Vで動作していることを 確認して使用してください。

注意:

 1.提供ファームウェアを含むすべてのソフトウェアは、ライセンスをベースにしています。
 2.信頼性、機能を向上させる目的でソフトウェアまたは製品に変更を加えるために 変更がある可能性があります。
 3.本書の内容は、予告なしに変更されることがあります。
 4.標準梱包は、スキャナ、USBケーブルとマニュアルが含まれています。

◆スペック表 MD200シリーズのものになります。

入力電圧	5 VDC \pm 0.25V
電源	500 mW (Operating); 950 mW (Max.)
スタンバイ電流	<250 µ A
レーザー	650nm laser diode
デコード率	200 times/sec
スキャン角度	$\pm 60^\circ$, $\pm 65^\circ$, $\pm 42^\circ$ (Skew, Pitch, Roll)
デコード機能	GS1 DataBar, UPC / EAN / JAN , ISBN, Code 39, EAN128,Full ASCII, Code128, Inteleave 25, Martrix 25,CODABAR / NW7, Code11, MSI /PLESSEY, Code93,China Postage, Code 32 / Italian Phammacy
インジケータ	ビープ音, LED
インターフェイスサポート	USBケーブル
大きさ	9.5cm H × 6.7cm W × 15.4cm D
重量	168g, ケーブルを含まない
ケーブル	USBストレートケーブル2m
温度耐性	$-40^{\circ} \sim 60^{\circ} C$
湿度耐性	5% ~ 95%
プログラミング法	マニュアルよりバーコードを読み取り
プログラムのアップ	オンライン
	5 mil: 40–110mm
	10 mil: 10–280mm
読み取り深度・解像度	13 mil: 15–315mm
	16 mil: 25–385mm
	35 mil: 145–630mm
読み取り可能	3mil code128
バーコード間隔	4mil code128
	5mil code128

%1mil=0.0254mm

ケーブルコネクタのピン配列の説明 MD200シリーズのものになります。



ケーブル・コネクタ・インタフェースのピン配列

◆各バーコードのデフォルト設定 MD200シリーズのものになります。

ユードタイプ	読み取り	チェックデ	チェックデ	最小コードの	プロパーティ	AIM
	可能か	ジット確認	ジット送信	長さ	コード ID	コード ID
UPC-A	0	0	0	(12) ²	А]Em
UPC-E	0	0	0	(8) ²	D]Em
JAN-13	0	0	0	(13) ²	А]Em
JAN-8	0	0	0	(8) ²	C]Em
ISBN	0	0	0	(13) ²	А]Em
Code39	0			1	Μ] Am
Interleaved 2 of 5	0			6	Ι]Im
Industrial 2 of 5				4	Н]Im
Matrix 2 of 5	0			6	Х]Im
Codabar	0			4	Ν]Fm
Code 128	0	0		1	К] Cm
Code 93	0	0		1	L] Gm
Code 11		0		4	V	-
MSI/Plessey				4	0] Mm
UK/Plessey	0	0		1	U] Mm
UCC/EAN 128	0	0		1	К] Cm
GS1 DataBar	0			(16) ²	R]em





MD200シリーズのものになります。







ケーブルの取り付け

- 1. ホストの電源をOFFにします。
- 2. ケーブル毎に接続方法があります、下の写真を参照してください。
- 3. すべての接続が確実に行われていることを確認してください。
- 4. パソコンの電源を入れます。インストールが成功した場合、 ブザーが鳴り、LEDが点灯します。



PS2 ケーブル

RS232 ケーブル

USB

ケーブルを取り外す

- 1. ケーブル取り外し穴を見つけます。
- 2. 穴の中のスイッチを細い針やクリップの先で押し、 ゆっくりとケーブルを引き出します。

スタンド(付属品)を組み立てる



1.上の図を参照してください、ネジを締めます。

2.スキャンの目的の位置に首を曲げます。

3.スキャナーを差し込みます。平たい場所に置いて使用してください。





バーコードに並行になるようにスキャンをします。 斜めにしたり全体に照射の光が当たらないような 読み方では読み取りが出来ません。

◆ATシリーズのスタンド設置

スタンドセット時にバーコードをかざすと照射する設定が必要な際は下記のコードを読み取ります。 また、その設定をOFFにする際も同様に該当する バーコードをスキャンします。



1. %SETUP をスキャン 2. オプションコードを読み取ります。 オプションコード 説明 設定データ UPC-A読み取り設定 読み取らない 00 読み取る 01* 3. 設定データに書いてある数字をオプションコードリスト(ページ最終部) から読み取ります。 例:読み取らないを設定したい場合は「00」なので「0」を2回読み取ります。 オプションコード 説明 設定データ UPC-A読み取り設定 読み取らない 00 読み取る 01*

4. %%%END をスキャン

設定はこの手順で行います。

プログラミングに成功するとスキャナが「ピッ、ピッ」と言う 音を鳴らします。

設定開始を意味する「%SETUP」をスキャンして設定を始め ないと設定用コードを読み取ってもそのコードをそのまま送 信します。

同じく設定終了を意味する「%%%END」をスキャンしない と設定は有効化されません。 USB Virtual COMでの動作には別途ドライバが必要になります。

http://www.media9.co.jp/m_tuhan/support.html から「MD 2 0 0 シリーズVirtual COMドライバ」をダウンロードしてください。

詳細:

USB Virtual COMモードで使用の際はUARTパラメータは、以下のように設定する必要があります。

- (1)通信速度:9600;
- (2)データビット:8ビット;
- (3)ストップビット:1ビット;
- (4)パリティチェックビット:None;
- (5)フロー制御 None;

インタフェースの選択

このスキャナは、キーボードウェッジ、RS-232シリアルウェッジ、 USBインタフェースなどのインタフェースをサポートしています。 ほとんどの場合、単純にメーカーが提供する適切なケーブルを選択するために動作します

1. SETUP をスキャン

SETUP

オプションバーコード→読み取るコードを下記からスキャン。
 (読み取るコードが「00」の場合、下記のオプションコードから「0」→「0」を読み取ります。

オプションバーコード	オプション	読み取るコード
Interface selection	自動検出 (Keyboard wedge /RS-232/USB)	00*
	キーボードウェッジ	01
	RS-232	02
	USB	03

3. 設定終了をスキャン



◆キーボードインタフェース

◆キーボードタイプ

IBM AT, PS/2 ・・・Windowsの場合はこちらを選択します。 apple computer・・・MACを搭載しているパソコンはこちらを選択します。

◆キーボードレイアウト

USA、Turkish F、Turkish Q、French、Italian、Spanish、 Slovak、Denmark、日本語、German、Belgian、Russianから選択できます。

◆クロック周期

PS2プロトコルに従って、設定をします。通常は使用しません。

◆遅延後の合わせキー

AltキーやCtrlキーをデータに付加している場合、同時入力にならないようにする場合設定します。

◆数字キー

数字キーの入力方法を設定する際に使用します。

◆電源投入時のシミュレーション

PC電源を入れた際にバーコードリーダーが繋がっていた場合、PCに信号を送ります。

◆文字間遅延

バーコードを読み取った際に次のコードを読み取るまでに遅延を入れます。

◆バイト間遅延

バーコードを読み取った際にバーコードの文字、1文字毎に遅延を入れます。

◆キャップスロック逆転

バーコードを読み取った際にキャップスロックを逆転させます。

オプションバーコード	オプション	読み取るコード
キーボードタイプ	IBM AT, PS/2	00*
	apple computer	01
	USA	00*
	Turkish F	01
	Turkish Q	02
	French	03
	Italian	04
キーボードレイアウト	Spanish	05
0202	Slovak	06
	Denmark	07
	日本語	08
	German	09
	Belgian	10
	Russian	11
	60us	00
	70us	01
クロック周期	80us	02*
0203	90us	03
	100us	04
	200us	05
	0ms	00*
遅延後の合わせまー	10ms	01
	20ms	02
	40ms	03
	80ms	04
数字キー	アルファベットキー	00*
	テンキー	01
0205	Alt+ keypad	02
電源投入時のシミュレーション	無効	00*
0206	有効	01
	0ms	00*
	5ms	01
文字間遅延	10ms	02
0207	20ms	03
	40ms	04
	80ms	05
	1ms	00*
バイト間遅延 	2ms	01
	4ms	02
	8ms	03
キャップスロック逆転	無効	00*
0209	有効	01

4.オプションコード			
	3		

RS-232 インターフェイス

◆フロー制御

フロー制御信号を設定します。

◆文字間遅延

文字間に遅延遅延を入れます。

◆予約済み

今後変更予定です。現在は何もありあません。

◆応答遅延

文字間の遅延を参照してください。

◆ボーレート

指定があった場合のみ変更します。通常は9600です。

◆パリティ

指定があった場合のみ変更します。

◆データビット

指定があった場合のみ変更します。

◆ストップビット

指定があった場合のみ変更します。

オプションバーコード→読み取るコードを下記からスキャン。
 (読み取るコードが「00」の場合、下記のオプションコードから「0」→「0」を読み取ります。

オプションバーコード	オプション	読み取るコー	ド
	None	00*	
	RTS/CTS (Host idle: Low RTS)	01	
	RTS/CTS (Host idle: High RTS)	02	
0301	XON/XOFF	03	
	ACK/NAK	04	
	0ms	00*	
	5ms	01	
文字間遅延	10ms	02	
III III IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	20ms	03	
	40ms	04	
	80ms	05	
予約済み			
0303			
応答遅延	00-99 (100ms)	00-99	
0304		00*	
	300	00	
	600	01	
	1200	02	
	2400	03	
ボーレート	4800	04	
0305	9600	05*	
	19200	06	
	38400	07	
	57600	08	
	115200	09	
パリティ	None	00*	
	Odd	01	
0306	Even	02	
データビット	8 bits	00*	
0307	7 bits	01	
ストップビット	One bit	00*	-
	Two bits	01	

3. 設定終了をスキャン

MININA END END

◆USB デバイスタイプ

HID キーボード、HID キーボード apple社Mac、 USB virtual COM、Simple COM Port Emulationから選択できます。 USB virtual COMはドライバや設定が必要になります。12ページをご参照ください。

◆キーボードレイアウト

USA、Turkish F、Turkish Q、French、Italian、Spanish、 Slovak、Denmark、日本語、German、Belgian、Russianから選択できます。

◆文字間遅延

バーコード毎に遅延を入れます。

◆数字キー

数字キーの入力方法を設定する際に使用します。

4.オプションコード		
00.00000	з ШШ Ш Ш	

3. 設定終了をスキャン

オプションバーコード	オプション	読み取る コード
	HID キーボード	00*
USB デバイスタイプ	HID キーボード apple社Mac	01
0901	USB virtual COM	02
	Simple COM Port Emulation	03
	USA	00*
	Turkish F	01
	Turkish Q	02
	French	03
	Italian	04
キーボードレイアウト	Spanish	05
0902	Slovak	06
	Denmark	07
	Japanese	08
	German	09
	Belgian	10
	Russian	11
	0ミリ秒	00
	5ミリ秒	01*
文字間遅延	10ミリ秒	02
	20ミリ秒	03
	40ミリ秒	04
	60ミリ秒	05
	アルファベットキー	00*
	テンキー	01
0904	Alt+ キーパッド	02

オプションバーコード→読み取るコードを下記からスキャン。
 (読み取るコードが「00」の場合、下記のオプションコードから「0」→「0」を読み取ります。

◆バーコードリーダー設定

◆スキャンモード

ボタンを押して一定時間照射、ボタンを押している間照射、 トリガーで常時照射切り替え、常時照射、タイムアウトOFFから選択できます。

◆スタンバイ時間

スタンバイに移行する時間を設定します。

◆同じバーコードの遅延時間 同じバーコードを連続で読み取る際に読み取るまでに遅延を入れます。 連続して同じコードを読み取ることを防止します。

◆二重の確認

誤読がないか2重で確認します。

◆最大コードの長さ 読み取るコードの最大の桁を指定します。

◆最小コードの長さ

最小読み取り桁数を設定します。

◆G1-G6列選択

スキャナはすべてのシンボルについて、1つまたは2つの文字列のグループを提供します。 例:グループ1→01または10に設定してください。 グループ2と4→24または42に設定してください。 00,01,02,03,04,05,06,10,11,12,13,14,15,16,20,21,22,23,24,25,26, 30,31,32,33,34,35,36,40,41,42,43,44,45,46,50,51,52,53,54,55,56, 60,61,62,63,64,65、66.

◆要素改正

有効にすると、スキャナはバーとスペースで構成されたバーコードを読み取ることができます。

◆文字出力抑制

有効にすると読み取りは出力が出力可能な文字のみとなります。20Hから7EHのASCII。

◆デコーダの最適化

有効にすると、スキャナはエラー訂正とデコーダを最適化します。

- ◆データ出力遅延(常時照射時)常時照射時の遅延を設定します。
- ◆スリープ・モード遅延を入力 スリープモードに入るまでの時間を指定します。
- ◆予約済み(文字コード)
 今後、ファームウエアの更新で設定されます。

オプションバーコード→読み取るコードを下記からスキャン。
 (読み取るコードが「00」の場合、下記のオプションコードから「0」→「0」を読み取ります。

オプションバーコード	オプション	読取るコード
	ボタンを押して一定時間照射	00
	ボタンを押している間照射	01*
	トリガーで常時照射切り替え	02
0401	常時照射	03
	タイムアウトOFF	04
スタンバイ時間	01-99 (分)	01-99
0402		04*
同じバーコードの遅延時間	00-FF ₁₆ (50秒)	00-FF ₁₆
0403		08*
二重の確認	00-09	00-09
0404	(00: no)	00*
最大コードの長さ	04-99	04-99
0405		99*
最小コードの長さ	01-99	01-99
0406		04*
G1-G6列選択	00-66	00-66
0407		00*
要素改正	無効	00
0408	有効	01*
文字出力抑制	なし	00*
	印刷可能な文字のみ	01
0409	英数字のみ	02
デコーダの最適化	無効	00
0410	有効	01*
データ出力遅延(常時照射時)	00-99 (100秒)	00-FF ₁₆
	FF (何時でも)	00*
フリープ・モード遅延を入力	15 分	00
	30 分	01*
0412	60 分	02
	何時でも	03
予約済み(文字コード)		
0413		

3. 設定終了をスキャン

◆ビープ音、LED設定

◆起動音

USB接続時のビープ音の有効、無効を設定します。

◆LED表示

読み取り時のLEDの点灯の有効、無効を設定します。

◆ブザー音

ブザー音の有効、無効を設定します。

◆ビープ音の継続時間

ビープ音の継続時間を指定します。(設定方法:10秒の場合、「1」→「0」と読み込みます。)

◆ブザーの音量

読み取り音の設定をします。ミュートにする場合は上のブザー音の無効を有効にします。

- 1. SETUP をスキャン
- SETUP

2. オプションバーコード→読み取るコードを下記からスキャン。

(読み取るコードが「00」の場合、下記のオプションコードから「0」→「0」を読み取ります。

オプションバーコード	オプション	読取るコード
起動音	無効	00
	有効	01*
赤LED表示	無効	00
0502	有効	01*
ブザー音	無効	00
	有効	01*
ビープ音の継続時間	01-09 (10秒)	01-09
		05*
ゴザーの卒星	小	00
	中	01
0505	大	02*

3. 設定終了をスキャン

4.オプションコード			
	811 8188188 811		
	3		

◆スタンド設置時の設定

◆スタンド連続照射モード・ワンステップ設定 スタンドにバーコードリーダーをセットした場合に常時照射にします。 このコードのみを読み取ります。

◆センサーを自動検出

センサーで自動検出するかを設定します。

◆動作モード

インスタンドの自動検出 - MD200専用スタンドに置いた際にセンサーを自動検出可能にします。 自動検出 - 常時オン - 自動検出センサは、常にの配置に関係なく有効にします。 イン・スタンド続けるースタンドに置かれなければならないように 設定するスキャンモードを有効にします。

スタンド連続照射モード・ワンステップ設定

%0602D02%

1. SETUP をスキャン	

2. オプションバーコード→読み取るコードを下記からスキャン。

(読み取るコードが「00」の場合、下記のオプションコードから「0」→「0」を読み取ります。

オプションバーコード	オプション	読み取るコード
センサーを自動検出	無効	00
	有効	01*
하た고 내	インスタンドの自動検出	00*
	自動検出 - 常時オン	01
0602	イン・スタンド続ける	02
待機時間	00-99 (秒)	00-99
		04*

3. 設定終了をスキャン

4.オプションコート	*		
		5	
01104000	3		
			NI UNGUL UN

UPC-A

1. 設定開始

%SETUP

SETUP

2.設定項目

*はデフォルト設定

コード	説明	設定データ
UPC-A読み取り設定	読み取らない	00
	読み取る	01*
チェックデジットを検査	しない	00
	する	01*
チェックデジットを転送	しない	00
	する	01*
コードID送信	00-FF ₁₆	00-FF
	(ASCII)	<a>*
※コートID設定はP50のコートIDを送	言を有効にしないと达信されませ 20まっ じち会照してください	てん。
また、独目のIDを送信する場合はAS		1
また、独自のIDを送信する場合はAS グループ選択を挿入	00-66 00-66	00-66
また、独自のIDを送信する場合はAS グループ選択を挿入 III I II I I I I I I I I I I I I I I	00-66	00-66 00*
	00-66 しない	00-66 00* 00*
また、独自のIDを送信する場合はAS グループ選択を挿入 III I II I I I I I I I I I I I I I I	00-66 しない 2 digits	00-66 00* 00* 01
また、独自のIDを送信する場合はAS グループ選択を挿入 III III III III IIII 数字を補完 III III III III IIII IIII	00-66 しない 2 digits 5 digits	00-66 00* 00* 01 02
また、独自のIDを送信する場合はAS グループ選択を挿入 III III III III IIII 数字を補完 III III III IIII IIII IIII	00-66 しない 2 digits 5 digits 2 or 5 digits	00-66 00* 00* 01 02 03
	00-66 しない 2 digits 5 digits 2 or 5 digits しない	00-66 00* 00* 01 02 03 00*
また、独自のIDを送信する場合はAS グループ選択を挿入 III III III III III III 数字を補完 III III III III III III III 切り捨て/拡張	00-66 しない 2 digits 5 digits 2 or 5 digits しない 先頭0を切り捨て	00-66 00* 00* 01 02 03 00* 01
また、独自のIDを送信する場合はAS グループ選択を挿入 III IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	00-66 00-66 しない 2 digits 5 digits 2 or 5 digits しない 先頭0を切り捨て EAN-13への展開	00-66 00* 01 02 03 00* 01 02 03
また、独自のIDを送信する場合はAS グループ選択を挿入 III IIII III III IIII 数字を補完 III IIII IIII IIII IIII III 切り捨て/拡張 III IIII IIII IIII IIII IIII 予約済み	00-66 00-66 しない 2 digits 5 digits 2 or 5 digits しない 先頭0を切り捨て EAN-13への展開 ファームウェアによって	00-66 00* 00* 01 02 03 00* 01 02

-設定項目の設定方法[.]

設定コードを読み取り後に 設定データに書いてある数字を 下のオプションコードから読み取ります。

例:UPC-Aを読み取らない場合 1.UPC読み取り設定(コード1101)を スキャン

2.読み取らないの設定データは「00」 なのでオプションコードから「0」を 二回スキャンします。

※「A」などの英数字はP58を参照して ください。

※ASCIはP55を参照してください。



UPC-E

1. 設定開始

%SETUP

SETUP

2. 設定項目

*はデフォルト設定

設定コード	説明	設定データ
UPC-E読み取り設定	読み取らない	00
1201	読み取る	01*
チェックデジットを検査	しない	00
1202	する	01*
 チェックデジットを <u>転</u> 送	しない	00
1203	する	01*
ーート ID送信	00-FF ₁₆	00-FF
1204	(ASCII)	<d>*</d>
また、独自のIDを送信する場合はASC	ビイックにしないと送信されません Ⅱコードを参照してください。 ┃	v。
グループ選択を挿入	00-66	00-66
1205		00*
	しない	00*
数字を補完 	2 digits	01
1206	5 digits	02
	2 or 5 digits	03
切り捨て/抗張	しない	00*
	EAN-13への展開	01
1207	UPC-Aへの展開	02
予約済み ┃ ┃ ┃	ファームウェアによって別途内臓されます。	

~設定項目の設定方法一

設定コードを読み取り後に 設定データに書いてある数字を 下のオプションコードから読み取ります。

- 例:UPC-Eを読み取らない場合 1.UPC読み取り設定(コード1201)を
 - スキャン

 読み取らないの設定データは「00」 なのでオプションコードから「0」を 二回スキャンします。

※「A」などの英数字はP58を参照して ください。

※ASCⅡはP55を参照してください。



SETUP

SETUP

2. 設定項目

*はデフォルト設定

オフションコード	= 1/ = =	
1//////	説明	設定データ
JAN-13読み取り設定	読み取らない	00
1301	読み取る	01*
チェックデジットを検査	しない	00
1302	する	01*
チェックデジットを転送	しない	00
1303	する	01*
コードID送信	00-FF ₁₆	00-FF
1304	(ASCII)	<a>*
※コードID設定はP50のコードIDを送信 また、独自のIDを送信する場合はAS	言を有効にしないと送信されませ ℃Ⅱコードを参照してください。	ん。
クルーフ選択を挿入	00-66	00-66
クルーフ選択を挿入 	00-66	00-66 00*
	00-66 しない	00-66 00* 00*
クルーフ選択を挿入 	00-66 しない 2 digits	00-66 00* 00* 01
クルーフ選択を挿入 	00-66 しない 2 digits 5 digits	00-66 00* 00* 01 02
クルーフ選択を挿入 	00-66 しない 2 digits 5 digits 2 or 5 digits	00-66 00* 00* 01 02 03
クルーフ選択を挿入 	00-66 しない 2 digits 5 digits 2 or 5 digits しない	00-66 00* 00* 01 02 03 00*
クルーフ選択を挿入 	00-66 しない 2 digits 5 digits 2 or 5 digits しない する	00-66 00* 01 02 03 00* 01

-設定項目の設定方法-

オプションコードを読み取り後に 設定データに書いてある数字を 下のオプションコードから読み取ります。

例:JAN-13を読み取らない場合 1.UPC読み取り設定(コード1201)を スキャン

2. 読み取らないの設定データは「00」 なのでオプションコードから「0」を 二回スキャンします。

※「A」などの英数字はP58を参照して ください。

※ASCIはP55を参照してください。



JAN-8

1.設定開始

%SETUP

SETUP

2.設定項目

*はデフォルト設定

オプションコード	説明	設定データ
JAN-8読み取り設定	読み取らない	00
	読み取る	01*
チェックデジットを検査	しない	00
1402	する	01*
チェックデジットを転送	しない	00
1403	する	01*
 	00-FF ₁₆	00-FF
1404	(ASCII)	<a>*
※コードID設定はP50のコードIDを送信を また、独自のIDを送信する場合はASCI	を有効にしないと送信されません Iコードを参照してください。	v.
グループ選択を挿入	00-66	00-66
1405		00*
	しない	00*
数字を補完 111 14 11 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14	2 digits	01
1406	5 digits	02
	2 or 5 digits	03
切り捨て/拡張	しない	00*
1407	先頭0を切り捨て	01
	EAN-13への展開	02
●	ファームウェアによって 別途内臓されます。	

-設定項目の設定方法

オプションコードを読み取り後に 設定データに書いてある数字を 下のオプションコードから読み取ります。

例: JAN-8を読み取らない場合 1.UPC読み取り設定(コード1201)を スキャン

2. 読み取らないの設定データは「00」 なのでオプションコードから「0」を ニ回スキャンします。

※「A」などの英数字はP58を参照して ください。

※ASCIはP55を参照してください。



SETUP

SETUP

2.設定項目

*はデフォルト設定

オプションコード	説明	設定データ	
Code-39読み取り設定	読み取らない	00	
1501	読み取る	01*	
チェックデジットを検査	しない	00*	~設定項目の設定方法────
1502	する	01	オプションコードを読み取り後に
チェックデジットを転送	しない	00 *	設定データに書いてある数字を
1503	する	01	トのオフションコートから読み取ります。
最大読み取り桁数	00-99	00-99	例: Code-39を読み取らない場合 1 CODE-39読み取り設定(コード1501)を
1504	指定しない	00*	スキャン
最小読み取り桁数	00-99	00-99	2.読み取らないの設定テータは「00」 なのでオプションコードから「0」を
1605	指定しない	01*	ニ回スキャンします。
Code ID 送信	00-FF ₁₆	00-FF16	※「A」などの英数字はP58を参照して
1506	(ASCII)	<m>*</m>	ください。
グループ選択を挿入	00-66	00-66	※ASCIはP55を参照してください。
1507		00*	
フォーマット	指定しない	00*	
1508	Full ASCII	01	
Start/End "★"送信	しない	00*	
1509	する	01	
"★"データ文字として認識	しない	00*	
1618	する	01	
Code32にデータを変換	しない	00*	
	する	01	
Code32 ID送信	しない	00*	
1512	する ("A"が送信されます)	01	
Trioptic Code 39 送信	しない	00*	
1613	する	01	
Trioptic Code 39 Start/End "★"送信	しない	00*	
1514	する	01	

3.設定終了

4.オプションコード			
		Ш Ш Ш Ш Б	
	3	 6	
	 		

%setup

SETUP

2. 設定項目

*はデフォルト設定

オプションコード	説明	設定データ	
読み取り設定	読み取らない	00	
	読み取る	01*	
チェックデジットを検査	しない	00*	╱設定
	USS	01	オプシ
1602	OPCC	02	設定う
チェックデジットを転送	する	01*	トのオ
1603	00-FF ₁₆	00-FF	例:I 1 読み
	00-99	00-99	スキ
1604	指定しない	00*	2.読み
最小読み取り桁数	00-99	00-99	
1605	指定しない	01*	Ж ГА
Code ID 送信	00-FF ₁₆	00-FF ₁₆	
1606	(ASCII)	< >*	*ASC
グループ選択を挿入	00-66	00-66	
		00*	
予約済み 1608	ファームウェアによって 別途内臓されます。		
	•		

~設定項目の設定方法−

オプションコードを読み取り後に 設定データに書いてある数字を 下のオプションコードから読み取ります。

 例: Inter leaved2of5を読み取らない場合
 1. 読み取り設定(コード1601)を スキャン

2. 読み取らないの設定データは「00」 なのでオプションコードから「0」を 二回スキャンします。

- ※「A」などの英数字はP58を参照して ください。
- ※ASCIIはP55を参照してください。

3	設定終了



%SETUP

SETUP

2. 設定項目

*はデフォルト設定

オプションコード	説明	設定データ	
読み取り設定	読み取らない	00*	
1701	読み取る	01	
最大読み取り桁数	00-99	00-99	←設定項目の設定方法────
1702	指定しない	00*	オプションコードを読み取り後に
最小読み取り桁数	00-99	00-99	設定データに書いてある数字を
1703	指定しない	01*	「「「「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「」」「「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」」「」」「」」」「」」」「」」」「」」」「」」」「」」」「」」」」
Code ID 送信	00-FF ₁₆	00-FF ₁₆	例: Industrial 2of5を読み取らない場合 1 読み取り設定 (コード1701) を
1704	(ASCII)	<h>*</h>	
グループ選択を挿入	00-66	00-66	2.読み取らないの設定テータは「00」 なのでオプションコードから「0」を
1705		00*	二回スキャンします。
予約済み	ファームウェアによって		※「A」などの英数字はP を参照して
	別途内臓されます。 		くたさい。
			※ASCIはP を参照してください。

3. 設定終了



MASETUP

SETUP

2. 設定項目

*はデフォルト設定

オプションコード	説明	設定データ	
読み取り設定	読み取らない	00	
1801	読み取る	01*	
チェックデジットを検査	しない	00*	┌設定項目の設定方法────
1802	する	01	オプションコードを読み取り後に
チェックデジットを転送	する	01*	設定データに書いてある数字を
1803	00-FF ₁₆	00-FF	トのオフションコートから読み取ります
最大読み取り桁数	00-99	00-99	例: Interleaved2of5を読み取らない場合 1 読み取り設定 (コード1601) を
1804	指定しない	00*	
最小読み取り桁数	00-99	00-99	2.読み取らないの設定テーダは「00」 なのでオプションコードから「0」を
1805	指定しない	01*	ニ回スキャンします。
Code ID 送信	00-FF ₁₆	00-FF16	※「A」などの英数字はP58を参照して
1806	(ASCII)	< >*	ください。
グループ選択を挿入	00-66	00-66	※ASCIIはP55を参照してください。
1807		00*	
予約済み	ファームウェアによって		
	別途内臓されます。 		

3. 設定終了



Codabar

1. 設定開始

SETUP

2.設定項目

*はデフォルト設定

オプションコード	説明	設定データ	
読み取り設定	読み取らない	00	
1901	読み取る	01*	
チェックデジットを検査	しない	00	←設定項目の設定方法────
1902	する	01*	オプションコードを読み取り後に
チェックデジットを転送	しない	00	設定データに書いてある数字を
1903	する	01*	トのオフションコートから読み取ります。
最大読み取り桁数	00-99	00-99	例: Codabarを読み取らない場合 1. Codabar読み取り設定(コード1901)を
1904	指定しない	00*	
最小読み取り桁数	00-99	00-99	2. 読み取らないの設定テータは「00」 なのでオプションコードから「0」を
1905	指定しない	01*	二回スキャンします。
Code ID 送信	00-FF ₁₆	00-FF16	※「A」などの英数字はP58を参照して
1906	(ASCII)	<n>*</n>	ください。
グループ選択を挿入	00-66	00-66	※ASCIはP55を参照してください。
1907		00*	
	ABCD/ABCD	00*	
Start/End の種類	abcd/abcd	01	
1908	ABCD/TN★E	02	
	abcd/tn∗e	03	
Start/End の送信	しない	00*	
1909	する	01	

3.設定終了

4.オプションコード			
	NI NULIN NI	اا اا اا اا ح	
	3		

SETUP

%SETUP

SETUP

2.設定項目

*はデフォルト設定

オプションコード	説明	設定データ
読み取り設定	読み取らない	00
2001	読み取る	01*
チェックデジットを検査	しない	00*
III III <u>2002</u>	する	01
チェックデジットを転送	しない	00*
2003	する	01
最大読み取り桁数	00-99	00-99
2004	指定しない	00*
最小読み取り桁数	00-99	00-99
2005	指定しない	01*
Code ID 送信	00-FF16	00-FF16
2006	(ASCII)	< >*
グループ選択を挿入	00-66	00-66
2007		00*
先頭の0の削除	しない	00*
2008	すべての先頭の "0"	01
	最初の"0"だけ	02

-設定項目の設定方法

オプションコードを読み取り後に 設定データに書いてある数字を 下のオプションコードから読み取ります。

例: Code 128を読み取らない場合 1. 読み取り設定(コード2001)を スキャン

 読み取らないの設定データは「00」 なのでオプションコードから「0」を 二回スキャンします。

※「A」などの英数字はP58を参照して ください。

※ASCIIはP55を参照してください。

|--|



Code 93

1. 設定開始

SETUP

SETUP

2. 設定項目

*はデフォルト設定

オプションコード	説明	設定データ	
読み取り設定	読み取らない	00	
2101	読み取る	01*	
チェックデジットを検査	しない	00	←設定項
2102	する	01*	オプション
チェックデジットを転送	する	00*	設定データ
2103	00-FF ₁₆	01	
最大読み取り桁数	00-99	00-99	例:Code (1 読み取り
2104	指定しない	00*	スキャン
最小読み取り桁数	00-99	00-99	2.読み取ら なのでオ
2105	指定しない	01*	ニ回スキ
Code ID 送信	00-FF ₁₆	00-FF ₁₆	※「A」な
2106	(ASCII)	<l>*</l>	くださ
グループ選択を挿入	00-66	00-66	×ASC II (‡I
2107		00*	
予約済み ┃ ┃	ファームウェアによって 別途内臓されます。		

-設定項目の設定方法-

オプションコードを読み取り後に 設定データに書いてある数字を 下のオプションコードから読み取ります。

例:Code 93を読み取らない場合 1.読み取り設定(コード2101)を

スイャン 2. 読み取らないの設定データは「00」 なのでオプションコードから「0」を 二回スキャンします。

※「A」などの英数字はP58を参照して ください。

※ASCIはP55を参照してください。

3. 設定終了

4.オプションコード		
	3 III III III	
11 11	M II III	

Code 11

1.設定開始

%SETUP

2. 設定項目

*はデフォルト設定

オプションコード	説明	設定データ	
読み取り設定	読み取らない	00*	
2201	読み取る	01	
チェックデジットを検査	しない	00	╱設ヌ
2202	する(1デジット)	01*	オプ
チェックデジットを転送	する	00*	設定
2203	00-FF ₁₆	01	101
最大読み取り桁数	00-99	00-99	例:
2204	指定しない	00*	こ ス 2 3 ま
最小読み取り桁数	00-99	00-99	2.読
2205	指定しない	00*	=
Code ID 送信	00-FF ₁₆	00-FF ₁₆	Ж Г,
2206	(ASCII)	<v>*</v>	
グループ選択を挿入	00-66	00-66	≫AS
2207		00*	
予約済み 	ファームウェアによって 別途内臓されます。		

-	設定]項	目	の	設	定	方	法-	
---	----	----	---	---	---	---	---	----	--

オプションコードを読み取り後に 設定データに書いてある数字を 下のオプションコードから読み取ります。

例:Code 11を読み取らない場合 1.読み取り設定(コード2201)を スキャン

2. 読み取らないの設定データは「00」 なのでオプションコードから「0」を 二回スキャンします。

※「A」などの英数字はP58を参照して ください。

※ASCⅡはP55を参照してください。

3. 設定終了

SETUP

%SETUP

SETUP

2. 設定項目

*はデフォルト設定

オプションコード	説明	設定データ
読み取り設定	読み取らない	00*
2301	読み取る	01
チェックデジットを検査	しない	00*
2302	する(1デジットmod10)	01
チェックデジットを転送	する	00*
2303	00-FF ₁₆	01
最大読み取り桁数	00-99	00-99
2304	指定しない	00*
最小読み取り桁数	00-99	00-99
2305	指定しない	00*
Code ID 送信	00-FF16	00-FF ₁₆
2306	(ASCII)	<0>*
グループ選択を挿入	00-66	00-66
2307		00*
予約済み 【	ファームウェアによって 別途内臓されます。	

-設定項目の設定方法·

オプションコードを読み取り後に 設定データに書いてある数字を 下のオプションコードから読み取ります。

 例: MSI/Plesseyを読み取らない場合
 1. 読み取り設定(コード2301)を スキャン

 読み取らないの設定データは「00」 なのでオプションコードから「0」を 二回スキャンします。

※「A」などの英数字はP58を参照して ください。

※ASCIIはP55を参照してください。

3. 設定終了



%SETUP

SETUP

2. 設定項目

*はデフォルト設定

オプションコード	説明	設定データ
読み取り設定	読み取らない	00*
2401	読み取る	01
チェックデジットを検査	しない	00
2402	する	01*
チェックデジットを転送	する	00*
2403	00-FF ₁₆	01
最大読み取り桁数	00-99	00-99
2404	指定しない	00*
最小読み取り桁数	00-99	00-99
2405	指定しない	01*
Code ID 送信	00-FF ₁₆	00-FF ₁₆
2406	(ASCII)	<u>*</u>
グループ選択を挿入	00-66	00-66
2407		00*
予約済み 	ファームウェアによって 別途内臓されます。	

-設定項目の設定方法-

オプションコードを読み取り後に 設定データに書いてある数字を 下のオプションコードから読み取ります。

 例:UK/Plesseyを読み取らない場合
 1.読み取り設定(コード2401)を スキャン

 読み取らないの設定データは「00」 なのでオプションコードから「0」を ニ回スキャンします。

※「A」などの英数字はP58を参照して ください。

※ASCIIはP55を参照してください。

3. 設定終了



SETUP

SETUP

2. 設定項目

*はデフォルト設定

オプションコード	説明	設定データ	
読み取り設定	読み取らない	00	
2501	読み取る	01*	
チェックデジットを検査	しない	00*	┌設定項目の該
2502	する	01	
チェックデジットを転送	しない	00*	設定データに書いて
2503	設定なし	01	
最大読み取り桁数	00-99	00-99	例:UCC/EAN 128を 1.読み取り設定(=
2504	指定しない	00*	スキャン 2 読み取らないの割
最小読み取り桁数	00-99	00-99	2. 読み取らないの語 なのでオプション
2505	指定しない	01*	二回スキャンしま
Code ID 送信	00-FF ₁₆	00-FF16	※「A」などの英数
2506	(ASCII)	<k>*</k>	
グループ選択を挿入	00-66	00-66	(※ASCIIはP55を参照
2507		00*]
先頭の0の削除	しない	00*	
2508	すべての "0"	01]
	最初の"0"だけ	02]

设定方法[·]

を読み取り後に こある数字を - ドから読み取ります。

読み取らない場合 コード2501)を

没定データは「00」 ンコードから「0」を ます。

字はP58を参照して

預してください。

3. 設定終了

%%%END END



China Post

1. 設定開始

%SETUP

2. 設定項目

*	は	デ	フ	ォ	ル	۲	設定
---	---	---	---	---	---	---	----

オプションコード	説明	設定データ
読み取り設定	読み取らない	00
2601	読み取る	01*
予約済み 	ファームウェアによって 別途内臓されます。	
予約済み 1 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ファームウェアによって 別途内臓されます。	
最大読み取り桁数	00-99	00-99
2604	指定しない	00*
最小読み取り桁数	00-99	00-99
2605	指定しない	01*
Code ID 送信	00-FF ₁₆	00-FF ₁₆
2606	(ASCII)	<u>*</u>
グループ選択を挿入	00-66	00-66
2607		00*
予約済み 	ファームウェアによって 別途内臓されます。	

3. 設定終了



SETUP

設定項目の設定方法一
オプションコードを読み取り後に

例: China Postを読み取らない場合 1.読み取り設定(コード2401)を

 読み取らないの設定データは「00」 なのでオプションコードから「0」を 二回スキャンします。

を参照して

を参照してください。

※「A」などの英数字はP

ください。

XASC II (≵P

スキャン

設定データに書いてある数字を 下のオプションコードから読み取ります。

GS1 DataBar

1. 設定開始

SETUP

SETUP

2. 設定項目

*はデフォルト設定

オプションコード	説明	設定データ	
読み取り設定	読み取らない	00	
2701	読み取る	01*	
Code ID 送信	00-FF16	00-FF ₁₆	←設定項目の設定方法
2702	(ASCII)	<r>*</r>	
グループ選択を挿入	00-66	00-66	インジョンコートを読み取り後に 設定データに書いてある数字を
2703		00*	下のオブションコードから読み取ります。
データ変換	しない	00	例:GS1 DataBarを読み取らない場合
2704	UCC/EAN 128	01	スキャン
	UPC-A or EAN-13	02	2. 読み取らないの設定データは「00」 なのでオプションコードから「0」を
			二回スキャンします。
予約済み 	ファームウェアによって 別途内臓されます。		※「A」などの英数字はP58を参照して ください。
			▲ ※ASCIIはP55を参照してください。

3. 設定終了			
	%%%END	END	



GS1 DataBar Limited

1. 設定開始

SETUP

SETUP

2. 設定項目

*はデフォルト設定

オプションコード	説明	設定データ	
読み取り設定	読み取らない	00	
2801	読み取る	01*	
Code ID 送信	00-FF ₁₆	00-FF ₁₆	←設定項日の設定方法────
2802	(ASCII)	<r>*</r>	
グループ選択を挿入	00-66	00-66	設定データに書いてある数字を
2803		00*	下のオプションコードから読み取ります。
データ変換	しない	00	例:GS1 DataBarを読み取らない場合 1 読み取り設定 (コード2801) を
	UCC/EAN 128	01	スキャン
2804	UPC-A or EAN-13	02	2. 読み取らないの設定データは「00」 なのでオプションコードから「0」を
予約済み			二回スキャンします。
2805	ファームウェアによって 別途内臓されます。		※「A」などの英数字はP58を参照して ください。
			▲ ※ASCIIはP55を参照してください。

3. 設定終了			
	%%%END	END	



SETUP

SETUP

2. 設定項目

*はデ	フォル	、ト設定
. 10- /		

オプションコード	説明	設定データ	
読み取り設定	読み取らない	00*	
2901	読み取る	01	
最大読み取り桁数	00-99	00-99	│ /設定項目の設定方法────
2902	指定しない	00*	- オプションコードを読み取り後に
最小読み取り桁数	00-99	00-99	設定データに書いてある数字を
2903	指定しない	01*	│ トのオフジョンコートから読み取ります。 │
Code ID 送信	00-FF ₁₆	00-FF ₁₆	例:GS1DataBarExpandedを きれ取らない場合
2904	(ASCII)	<r>*</r>	1.読み取り設定(コード2901)を
グループ選択を挿入	00-66	00-66	スキャン 2. 読み取らないの設定データは「00」
2905		00*	なのでオプションコードから「0」を ニロスキャン」ます
	変換しない	00*	
2906	UCC/EAN 128	01	- ※「A」などの英数字はP58を参照して ください。
予約済み 	ファームウェアによって 別途内臓されます。		▲ XSCIはP55を参照してください。

3. 設定終了



・読み取ったコードの先頭に文字を付加する ※上から順に読み取ります。



・テストコード

123456

※「挿入文字を選択」の例のように 「4→1」と読み取って設定をした場合 「A123456」と出力されます。 ・読み取ったコードの後尾に文字を付加する ※上から順に読み取ります。



・テストコード

※「挿入文字を選択」の例のように 「4→1」と読み取って設定をした場合 「A123456」と出力されます。

・コードの〇番目に文字を挿入する

※上から順に読み取ります。



・指定した文字を別の文字に変更する

※上から順に読み取ります。



※例のように設定した場合、 「123B5B」と読み取られます。

・オプション設定

→設定項目の設定方法 例:コード名送信を送信するにする場合 設定開始をスキャン→コード名を送信をスキャン→設定データが「01」なので オプションコードより「0」→「1」をスキャン→設定終了をスキャン

|--|

2. 設定項目

コード	説明	設定データ
コード名送信	送信しない	00*
	送信する	01
コード ID 送信	送信しない	00*
	カスタム識別子	01
	AIM 識別子	02
	送信しない	00*
ケース変換	大文字(データのみ)	01
	小文字(データのみ)	02
	大文字(全体)	03
	小文字(全体)	04
コードの長さ送信	送信しない	00*
	送信する	01

3. 設定終了				
	%%%END	ND		

4.オプションコード			
		ااا ا ا اا ااا ح	
 	3	6 	
	 		
 2			

Test Chart





症状	原因と思われるもの
立字のしも後にみたがしこたい	1. 半角全角が「半角」になっていることを確かめてください。
又子の入力後に取1]が入らない	2. Caps Lockの設定を確認して下さい。
連続で読み取ったデータが上手く送信出来てない	遅延設定を入れてみてください。



細かなメンテナンスを行うことでバーコードリーダーをより長く、安定した読み取りで 仕様ができます。メンテナンスは下記のことに気をつけて行います。

- 1. 研磨剤を使用する際にはレーザーが出ているウィンドウに触れないようにしてください。
- 2. 湿らせた布でほこりや汚れを取り除きます。
- 3.水で湿らせたティッシュペーパーでウィンドウを拭いてください。
- 4. 直接ウィンドウに、水またはその他の液体をスプレーしないでください。
- 5. 清掃の際、乾いた柔らかい布を使用します。

	USB•Bluet	ooth接続時	RS-232接続時		
H	0	1	0	1	
0	Null		NUL	DLE	
1	Up	F1	SOH	DC1	
2	Down	F2	STX	DC2	
3	Left	F3	ETX	DC3	
4	Right	F4	EOT	DC4	
5	PgUp	F5	ENQ	NAK	
6	PgDn	F6	ACK	SYN	
7		F7	BEL	ETB	
8	Bs	F8	BS	CAN	
9	Tab	F9	HT	EM	
А		F10	LF	SUB	
В	Home	Esc	VT	ESC	
С	End	F11	FF	FS	
D	Enter	F12	CR	GS	
Е	Insert	Ctrl+	SO	RS	
F	Delete	Alt+	SI	US	

ASCII コード表

H	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	a	Р	`	р
1	!	1	А	Q	а	q
2	دد	2	В	R	b	r
3	#	3	С	S	с	S
4	\$	4	D	Т	d	t
5	%	5	Е	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	٢	7	G	W	g	W
8	(8	Н	Х	h	Х
9)	9	Ι	Y	i	у
А	*	:	J	Ζ	j	Z
В	+	;	Κ	[k	{
С	,	<	L	\	1	
D	-	=	М]	m	}
Е		>	N	^	n	~
F	/	?	0	_	0	DEL

使い方: "A" = "41".のため、次のページの オプションコードから「4」→「1」と読み取ります。

◆特殊キーの入力

1。バーコード印刷ソフトウェアにより、印刷以下のバーコードの方法が異なっている。 2。CODESOFTソフトウェアを使用している場合は、 まず「ヘルプ→インデックス→Code128→特殊入力を介して情報を読み取る構文」を参照してください。 また、ASCIIテーブルを参照してください。 「F1」のバーコードをご希望の場合は、その後、「CODE128」を選択 「コードA」タイプ、および入力"{DOC1を}"のデータとして選択します。





○工場出荷時に戻す すべての設定がクリアされます。



○ファームウェアの確認 ファームウェアを確認します。 指定があった場合、ご使用ください。

2	
	3
4	
	1 1 1 1 5
6 6	
 8	
	В
C	
	D

◆各バーコードのデフォルト設定

コードタイプ	読み取り	チェックデ	チェックデ	最小コードの	プロパーティ	AIM
	可能か	ジット確認	ジット送信	長さ	コード ID	⊐−ド ID
UPC-A	0	0	0	(12) ²	A]Em
UPC-E	0	0	0	(8) ²	D]Em
JAN-13	0	0	0	(13) ²	А]Em
JAN-8	0	0	0	(8) ²	C]Em
ISBN	0	0	0	(13) ²	А]Em
Code39	0			1	Μ] Am
Interleaved 2 of 5	0			6	Ι]Im
Industrial 2 of 5				4	Н]Im
Matrix 2 of 5	0			6	Х]Im
Codabar	0			4	Ν]Fm
Code 128	0	0		1	K] Cm
Code 93	0	0		1	L] Gm
Code 11		0		4	V	_
MSI/Plessey				4	0] Mm
UK/Plessey	0	0		1	U] Mm
UCC/EAN 128	0	0		1	К] Cm
GS1 DataBar	0			(16) ²	R]em